

〈参考文献〉

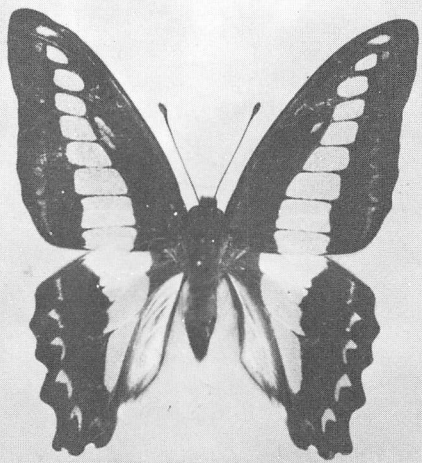
- 1) 高田忠彦、井手敏晴(1978) 兵庫県産蝶類調査報
MDKNEWS 28(79) :30-32
- 2) 相坂耕作(1980) 姫路市の昆虫 てんとうむし(6)
:11-12
- 3) 岩村 巖(1980) 西播の蝶分布資料 てんとうむ
し(6) :21-22

Masami Hirohata 〒671-22 姫路市打越1343-259

アオスジアゲハの エサキ型採集例

佐々木 薫

アオスジアゲハ前翅中室内に斑紋の現れた個体（エサキ型）の採集例は播磨蝶友会の会員である入江照夫氏によっても会誌ひろおびNo.4 P14に於いて採集報告され、他にも時々採集例をみることがあるが当地域からの報告はこれまでは無かったと思うので知らせておく。



採集地 兵庫県波賀町原 赤西溪谷

採集日 15. V. 1983

採集者 佐々木 薫

未筆ながら今回の報告にあたって写真を撮っていた
だいた入江照夫氏にお礼を申しあげる。

〈参考文献〉

1. 入江照夫 室津の異常型アオスジアゲハ
ひろおびNo.4

Kaoru Sasaki

〒678 兵庫県相生市赤坂町1丁目121の1

ナガサキアゲハ雌の黒化型

広 畑 政 己

本種の雌の後翅の白斑は南下するほど発達する傾向が強く、八重島諸島のものは白化が顕著に現れることはよく知られている。

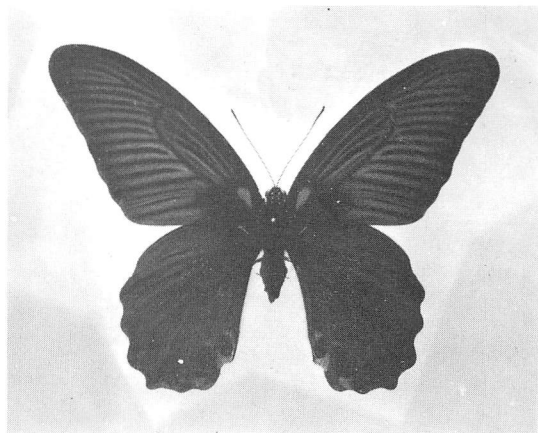
兵庫県に於ては、ときおり白斑の発達した個体が採集されるが、大半は白斑の発達が弱く、後翅3室か、よくでて4室までである。

この度羽化した個体は、白斑が全く見られず、一見雄と思われるような個体である。この他にも2頭の雌が羽化しているが、この個体に近いものが1頭と、後翅2室と3室に白斑が少し現れたものが1頭羽化している。

母蝶も後翅は3室までわずかに現れた個体であったが、10月10日に採卵し、羽化が寒季の1月27日ということも多少影響しているのかもしれない。母蝶を御提供下さった唐土洋一氏にお礼申し上げる。

〈データ〉

相生市鰯浜 1♀ 27-I-1983 (羽化)



Masami Hirohata

〒671-22 姫路市打越1343-259